

厚 生労働省から公表された「令和6年人口動態調査」によると、紀宝町では、亡くなった方180人のうち44人、24・4%が自宅で最期を迎えています。この割合は、三重県平均の16・5%を大きく上回り、県内29市町では朝日町に次いで2番目に高い割合です。また、東紀州地域の市町と比較しても、紀宝町では自宅で亡くなる方の割合が特に高くなっています。

一方、病院で亡くなった方は58・9%で、三重県平均の61・6%と大きな差はありません。しかし、介護施設で亡くなる方の割合は県平均を下回っており、亡くなる場所の内訳に紀宝町ならではの特徴が見られます。

自宅で亡くなる方が多い背景には、訪問診療や訪問看護、介護サービスなど、在宅での療養生活を支える体制があることに加え、医療・介護の関係者が連携し、本人や家族の希望に寄り添った支援があることなどが考えられます。

こうした支えによって、「住み慣れた自宅で最期まで過ごしたい」という希望を選択しやすい環境につながっています。

自宅で最期を迎えた方

約 4 人に 1 人



24.4%

紀宝町で亡くなった方のうち、自宅で最期を迎えた方の割合（令和6年）
厚生労働省「令和6年人口動態調査」

知っておきたい

在宅医療と看取りの Q & A

Q 急に具合が悪くなったら？

A 在宅医療では、体調の変化があったときに備えて、あらかじめ連絡先や対応方法を確認しておきます。まずは訪問診療の医師や訪問看護師に連絡し、症状に応じて往診や助言を受けます。必要に応じて、医療機関への受診や入院につながる場合もあります。

Q 自宅での医療や介護では、どのようなことをしてもらえますか？

A 医師や看護師などが自宅を訪問し、診察や薬の処方、健康状態の確認、必要な医療処置などを行います。病気や体の状態に応じて、ヘルパーやデイサービスなどを利用しながら、住み慣れた自宅で療養生活を送ることができます。

Q 自宅での看取りは、家族だけで行うの？

A 家族だけですべてを担うわけではありません。訪問診療を行う医師や訪問看護師、ケアマネジャー、介護職員などが連携し、本人と家族を支えます。体調の変化や不安なことがあれば、専門職に相談しながら、自宅での生活を続けることができます。

Q 在宅医療を受けたら、ずっと自宅で過ごさないといけないの？

A そんなことはありません。本人の希望や体調、家族の状況などに応じて、医療機関への入院や介護施設への入所を選ぶこともできます。大切なのは、本人や家族が納得できる場所や過ごし方を考えることです。

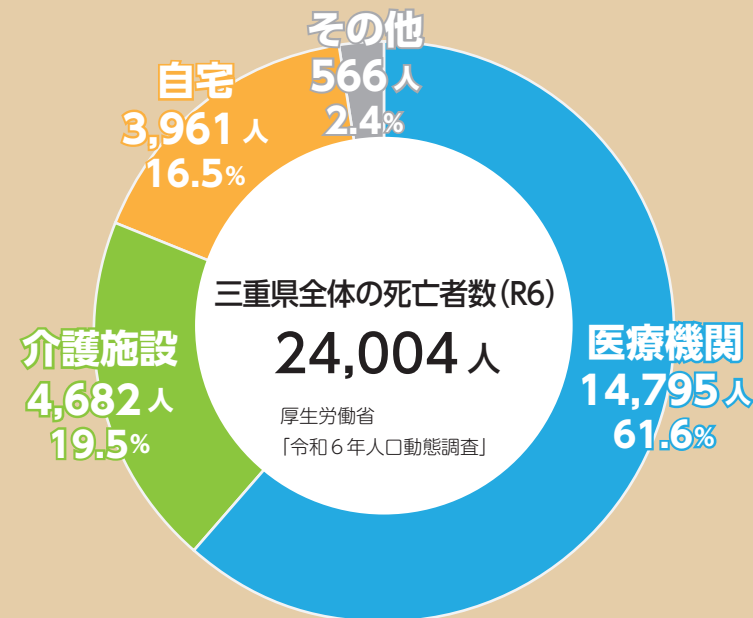
Q 自宅での医療や介護にはお金がかかるの？

A 医療保険や介護保険を利用できます。自己負担額は所得や利用するサービスなどによって異なります。

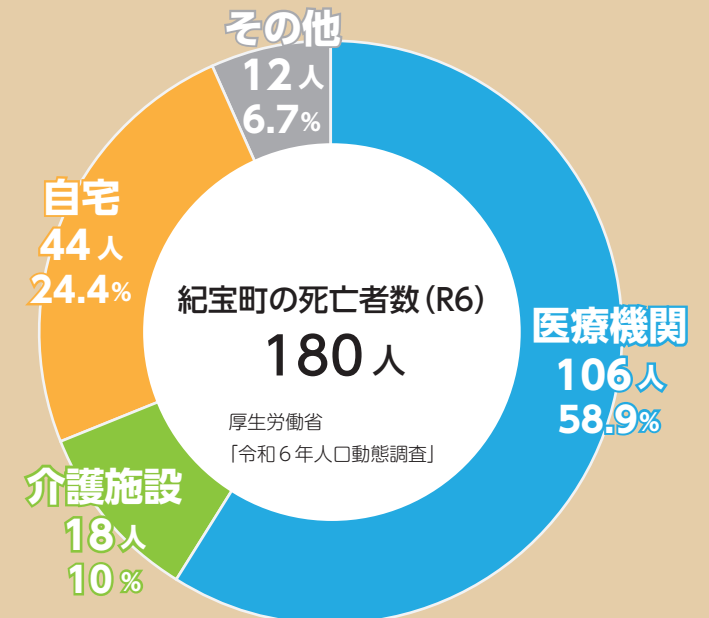
Q 自宅で最期まで過ごすには、だれに相談すればいいの？

A まずは、かかりつけ医やケアマネジャー、地域包括支援センターなどに相談してください。本人や家族の希望に合わせて、必要な医療や介護サービスを一緒に考えます。

三重県全体で亡くなった方の死亡場所



紀宝町で亡くなった方の死亡場所



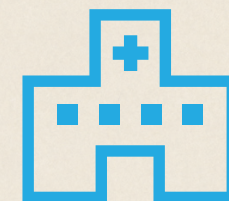
人生の最終段階を過ごす主な 3 つ の場所

人生の最終段階を過ごす場所には、「自宅」、「医療機関」、「介護施設」などがあります。本人の希望や体調、家族の状況に応じて、過ごす場所はさまざまです。



介護施設

介護を受けながら生活する施設で、職員の支援を受けながら最期を迎えます。慣れ親しんだ環境で、その人らしい生活を続けられます。



医療機関

病院などに入院し、医師や看護師による医療を受けながら最期を迎えます。治療や症状を和らげるためのケアなどを受けながら過ごします。



自宅

住み慣れた家で、家族や身近な人と過ごしながらか最期を迎えます。訪問診療や訪問看護、介護サービスなどを利用し、自宅での暮らしを続けていきます。